

# TSY MANINONA

JOURNAL SUR MADAGASCAR

木川 莉江 KIGAWA RIE

JICA青年海外協力隊として  
マダガスカルのアンブイマナンブラで活動中  
大塚製薬株式会社より現職参加  
(2021-3次隊/コミュニティ開発)

## マダガスカル通信始めます

はじめまして。マダガスカルのアンブイマナンブラという丘の上の自然いっぱいの地域で活動している木川莉江と申します。

職種はコミュニティ開発です。

これからマダガスカルでの生活や協力隊活動について、通信に綴っていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します！

## 朝ごはん

早速ですが、食べ物のこと。マダガスカルには、小さな屋台が沢山あります。揚げドーナツのようなものや、お饅頭のようなものが売っています。とても美味しいです。

小さめのカップに入れてくれるコーヒーとセットで約500Ar (約15円)

活動先の市役所では、朝8:00から9:00ごろにぱらぱらと人が集まりますが、10:00頃には一度朝ご飯休憩を挟みます。みんなでその時間をゆるゆると楽しんでいます。

また楽しみながらも、次の予定のための移動や準備が間に合うのか、時々どきどきすることもあります、、、！笑



散歩について来てくれた近所の子供たち。  
絶景スポットを見つけました！



“

## Tsy maninona

「気にするな～」という意味  
 停電や断水があっても手元に大きなお金がなくても  
 「Tsy maninona」と言って  
 鼻うたを歌っている人が多くいます  
 マダガスカルのそんなところが大好きで  
 通信のタイトルにしました！



在マダガスカル日本大使館でバオバブに初対面しました。

## SUR MADAGASCAR

### マダガスカルについて

マダガスカルはアフリカ最大の島国で、面積は日本の約1.6倍です。人口は約2,769万人、首都アンタナナリボは約300万人の規模です。既にバオバブやキツネザルが日本でも有名ですが、本当に自然がとても豊かで植物・動物の8割以上が固有種となっています。

また驚いたことに、日本人よりも沢山お米を食べます。日本人の約2.5倍とも言われており、消費量はアフリカの中で最も多い国の一つです。お米の生産量はアフリカ内で第3位。バニラも有名で世界第1位の生産量となっています。

一方、マダガスカルは最貧国の一つと言われており、国民の約80%が1日1.9ドル以下（約259円）で生活しています。

また貧富の格差がとても大きいことを日々感じます。写真の左はJICAマダガスカル事務所も入っているビル、一方ビルの裏側でははだしで小さな男の子が歩いていて用水路のような川を挟んだ右側はスラム街になっています。

公用語はマダガスカル語とフランス語です。基本的にマダガスカル人同士の会話はマダガスカル語ですが、公的な文書等、書きものはフランス語になります。また公的な行事の司会、電話番号や値段を伝える時の数字はフランス語が使われることが多いです。



停電中はギターを弾くか、深く寝ます。笑

そんなマダガスカルで、任地アンブイマナンブラに配属して今日で約一ヶ月。現地の方が皆とても優しく、いつも助けて下さるお陰で楽しく生活できています。本当に感謝です、。

これから何か少しで現地の人々の力になれることできるよう日々模索し挑戦しながら頑張っていきたいと思います！